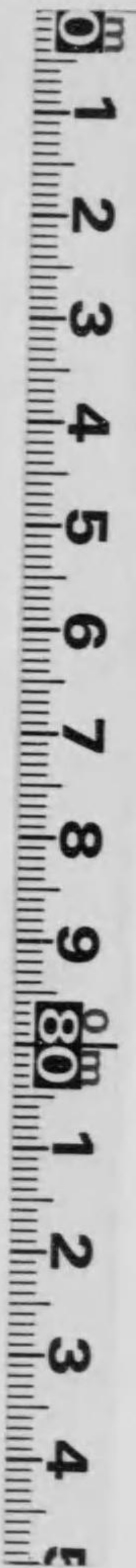


R  
0292  
N51

通俗圖書館良書目錄

奈良縣立奈良通俗圖書館編



始



228-108

# 通俗圖書館良書目錄

奈良縣立奈良圖書館編纂

流れる水は常に清く  
讀書する人常に新し

合資  
會社 木原文進堂發行

278-108  
R  
029.2  
N51

序

○我縣下の圖書館事業は未だ建設の時機にある。

○通俗圖書館の地方的普及は、今日本縣に於ける社會教育上急務中の急務であると考へる。

○學校が附設してもよく、市町村が別に圖書館を經營してもよく、又青年團處女會等が經營してもよいが、  
を有する様になりたい。

○昨年學校圖書館としての良書目録を編纂して配布したが、今年は各市町村に於ける通俗圖書館に備へ付  
くべき良書を撰定して編纂配布することにした。

○厳密に言へば、かういふ仕事は恐ろしい事であり、手の着け難いことではあるが、今日はそんな事を  
てゐられない必要に逼られてゐるのである。出来るならば國にかういふ調査機關があつて、三年目  
千圓で出来る良書目録を作つて骨子となるものを示されたいと思ふ。

○本館は主として文部省編纂の圖書館書籍標準目録に據つたが、その他各種の参考書も参考にし、書庫  
に問合狀を出して四百數十名の方から懇切なる御教示を仰いだものを参考とした点も多い。御教示を與へ  
られた方々には、この機會に深く御禮を申上ります。

○大たいは大正十二年以後の新刊から採る事にしたが、中には舊刊も入れた。標準となる良書と思つて選擇  
したが、なるべく通俗平易なものを選ぶことにした。然し時には稍程度の高いものを入れることにした。

○各圖書館等から出されてゐる良書目録に文學書の少いのはどういふ譯かと思ふ。恐らくは、文學書もよい  
ものは多く讀まされたのだが選擇に困るといふ事情があるのだと思ふ。それは餘り心配しすぎると思ふ。

良書目録贈本

15. 10. 25  
寄贈

比較的程度の高い作品ならば、極端に弊害の伴ふものを除く他は讀ましてよいと思ふ。  
○始めから讀者(被教育者)の頭を單純に一本調子にしようと思ふのは間違つてゐる。これは文學ものゝみに限らず、その他の學說のやうなものでも、いろいろのものを與へて自から歸する所を知らしめてよいと思ふ。

○地方の通俗圖書館には、小説、戯曲、講談、傳記、隨筆、紀行、趣味、娛樂といったものを多く採る必要があると思ふ。本書は其点にも留意したつもりだがまだ少いと思ふ。もつと良い書を探し出したものだ。  
○それと同時に通俗圖書館には科學書を數多く採り入れて何人も自由に面白く獨りで勉學出来るやうにしたいと思ふ。だから科學を極く平易に親切に、一般人に對して説いた様な書籍があれば、なるべく多く備へたい。尙科學方面で本著の圖書で満足されない時は、昨年配布した「學校圖書館圖書目録」の方から選擇してほしい。

○通俗圖書館には少年圖書も採用したいと思ふ。特に尋常五六年以上の兒童の爲に書いた圖書は青年や大人が讀んでも面白く、且つ有益なのが多い。又圖書館へ少年を招く上からも必要である。然し少年圖書は昨年の學校圖書館の目録の方へ入れておいたから本書には再録しなかつた。

○本書には全部で數千圓の圖書を集めてゐるが、經費の都合でこの内から幾分かを選択されるのに便利と思つてなるべく多くしたのである。

○こちらの書があればこちらが要しないかと思ふのもあつたが、經費の都合でどちらかを得られるか、又は兩方を得られる様に二つともどつたのもある。又叢書の方を備へるとその内にあるのも多くあるが、叢書全集等を買はない時の事を思つて採用したのである。

○郷土關係圖書は奈良縣といふ範圍を郷土として採用したが、その所在の所で、又その地方のものとなるべく多く集められない。但しこの部には今日自由に得られるのは少いので、他は古本でも漁らねばならぬが、

ほしいと思ふのを書いてみた。奈良縣關係の圖書は明年の仕事として、目録も書物もなるべく多く集めてみたいと思つてゐる。

○年々五百圓以上の圖書購入費を各市町村で得たいと思ふ。學校教育に幾萬圓を費してゐて、圖書館には果して幾何の金を出してゐる。今後の補習教育、若しくは青年教育、大人教育は圖書館(學校附設のものも指す)を中心として行はれねば嘘である。一時的な講習會、講座といふやうなもので成人を教育しやうと思ふことは近眼も甚だしい。

○黎明期に入れる我奈良縣の圖書館の爲に、本書が幾分でも資する所があれば幸である。尙本書は永遠の未定稿として、今後の研究と各位の御指導に依つて今後増補改訂していきたいと考へてゐる。

大正十五年十月九日

### 本書の圖書分類法

○ 總 說

- 〔全書、叢書、目錄、事業〕
- 〔叢書、雜誌、新聞、逐次刊行物〕
- 〔宗教、神學、佛敎、基督教、雜敎〕
- 〔哲學、論理學、心理學、倫理學〕
- 〔支那哲學、美學〕

一、宗教、哲學

- 二、教育、修養
- 三、文學、語學
- 四、歴史、地理
- 五、法制、經濟、社會
- 六、數學、理學、醫學
- 七、工學、美術、諸藝
- 八、産業、商業
- 九、郷土關係圖書

教育、受驗、講義録  
 社會教育、青少年團處女會  
 教訓、修養  
 國文、漢文、歐米文學現代文  
 小説、戯曲、講談、詩歌  
 講話、語學  
 歴史、紀行  
 地誌、紀行  
 政治、法律、兵事  
 財政、經濟、統計  
 社會、風俗、家庭  
 數學、物理、化學、天文、地文  
 博物學、生物學、人類學、動植物學、礦物學  
 醫學、生理、衛生  
 土木、機械、電氣、建築  
 美術、工藝、舞蹈  
 音樂、演劇、遊技  
 娛樂、遊技  
 農業、園藝、山林、牧畜、蠶業  
 商業、工業、交通、通信  
 郷土に關する書籍、繪畫、統計、地圖、寫眞  
 郷土出身者の著書及傳記肖像  
 郷土發行の新報雜誌、その他  
 (別に兒童書を一門作る必要あり)

○ 總記

書名	著譯編者	發行所	冊數	定價	備註
アルス文化大講座		アルス	三	二七、五	郷土研究社
アルス婦人講座		アルス			大鏡閣
アルス大美術講座		アルス			十合書館
現代小説全集	夏目漱石	新潮社	一六	一六、〇〇	三、八〇
現代戯曲全集	夏目漱石	新潮社	一六	一六、〇〇	三、八〇
現代脚本全集	夏目漱石	新潮社	一六	一六、〇〇	三、八〇
獨歩全集	國木田獨歩	新潮社	一四	一四、〇〇	三、八〇
鷗外全集	森鷗外	新潮社	一四	一四、〇〇	三、八〇
正岡子規全集	正岡子規	新潮社	一四	一四、〇〇	三、八〇
鳥崎藤村全集	鳥崎藤村	新潮社	一四	一四、〇〇	三、八〇
芭蕉全集	芭蕉	新潮社	一四	一四、〇〇	三、八〇
トルストイ全集	トルストイ	新潮社	一四	一四、〇〇	三、八〇
沙翁傑作集	沙翁	新潮社	一四	一四、〇〇	三、八〇
ニイチエ全集	ニイチエ	新潮社	一四	一四、〇〇	三、八〇
世界童話大系	世界童話大系	新潮社	一四	一四、〇〇	三、八〇
廣辭林	廣辭林	創文社	一	六、五〇	三、八〇
新和英大辭典	新和英大辭典	創文社	一	三、〇〇	三、八〇
自習用全科辭典	自習用全科辭典	創文社	一	二、〇〇	三、八〇
井上英辭典	井上英辭典	創文社	一	二、〇〇	三、八〇
井上英辭典	井上英辭典	創文社	一	二、〇〇	三、八〇
社會問題辭典	社會問題辭典	創文社	一	二、〇〇	三、八〇
最新科學知識辭典	最新科學知識辭典	創文社	一	二、〇〇	三、八〇
現代商業辭典	現代商業辭典	創文社	一	二、〇〇	三、八〇
爐邊叢書	爐邊叢書	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
科學叢書	科學叢書	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
商店叢書	商店叢書	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
新百科大辭典	新百科大辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
國史大辭典	國史大辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
故事成語大辭典	故事成語大辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
詳解漢和大辭典	詳解漢和大辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
新らしい言葉の字引	新らしい言葉の字引	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
新しき主義學說の字引	新しき主義學說の字引	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
文藝辭典	文藝辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
廣辭林	廣辭林	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
字源	字源	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
言海(中)	言海(中)	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
自習用全科辭典	自習用全科辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
井上英辭典	井上英辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
井上英辭典	井上英辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
社會問題辭典	社會問題辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
最新科學知識辭典	最新科學知識辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
現代商業辭典	現代商業辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
爐邊叢書	爐邊叢書	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
科學叢書	科學叢書	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
商店叢書	商店叢書	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
新百科大辭典	新百科大辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
國史大辭典	國史大辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
故事成語大辭典	故事成語大辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
詳解漢和大辭典	詳解漢和大辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
新らしい言葉の字引	新らしい言葉の字引	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
新しき主義學說の字引	新しき主義學說の字引	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
文藝辭典	文藝辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
廣辭林	廣辭林	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
字源	字源	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
言海(中)	言海(中)	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
自習用全科辭典	自習用全科辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
井上英辭典	井上英辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
井上英辭典	井上英辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
社會問題辭典	社會問題辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
最新科學知識辭典	最新科學知識辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇
現代商業辭典	現代商業辭典	大鏡閣	一	一、九二〇	三、八〇

一、宗教・哲學

宗教學概論	佐野 勝也	大村書店	二、五〇	彼岸の世界	金子 大榮	アルス	四〇〇
宗教的理性	金子 大榮	中央出版社	一、五〇	基督の生涯 (前編)	伊バヒイニ基 大木篤夫譯		
宗教の門	松原 寛	大阪屋號	一、五〇	逆境の福音	栗原 基	警醒社	一、五〇
我が宗教	本間 俊平	イデア書院	二、四〇	基督に倣ひて	網島 佳吉		
宗教と人生	帆足理一郎	新生堂	二、四〇	聖オースチン懺悔錄	中山昌樹譯	新生堂	二、五〇
宗教的經驗の種々	佐藤繁彦譯	星文館	二、四〇	人生と宗教	中山昌樹譯		
宗教と教育	小原 國芳	太陽堂	一、五〇	信と生活	佐藤 定吉	厚生閣	一、八〇
神に就いて	柳 宗悅	大阪毎日新 聞社	二、七〇	普通への復舊と報謝の生活	本城 徹心	中央出版社	二、二〇
新譯佛教聖典	梅原 眞隆	双樹社	一、七〇	佛敎の人生觀	西 晋一郎	日本社	二、〇〇
日蓮聖人御書全集	田中 智學	天業民報社	四、〇〇	人間の宗教	南條 文雄	中央出版社	三、八〇
生の実現としての佛敎	高楠順次郎	大雄閣	二、〇〇	解脱への道	椎尾 辨匡	甲子社	二、五〇
新約聖書物語	三浦 關造	誠文堂	三、〇〇	懺悔の生活	木村 泰賢		
舊約聖書物語	〃	〃	三、〇〇	聖者の荒野の光	西田 天香	春秋社	二、九〇
永遠の鐘	〃	〃	三、〇〇	聖き愛の世界へ	中村 亮平	洛陽堂	三、八〇
第一義諦	大谷 光瑞	厚生閣	二、五〇	神の人間俊平	帆足理一郎		

聖書通俗お話集	鈴木 暢幸	日比書院	二、〇〇	我が國民思想の研究	津田左右吉	教文館	一、五〇
永遠の童心	宮崎安右衛門	有光閣	二、〇〇	平易なる皇室論	永田秀次郎		
光を仰ぎて	蓮沼 門三	修養園	一、五〇	日本の堅實性	〃		
現代哲學概論	金子 筑水	東京堂	二、八〇	人生學	内ヶ崎 作三郎		
哲學概論	帆足理一郎	新生堂	二、八〇	思索の人生	大島 正徳		
文化哲學入門	土田 杏村	中文館	三、五〇	人格主義	阿部 次郎		
哲學入門	西宮 藤朝	平凡社	二、八〇	人格の生活	吉田 静致		
現代哲學思潮大系	〃	新光社	三、〇〇	國民道德要義	深作 安文		
妥當性の哲學	北 吟吉	早稲田泰文 社	二、三〇	公民道德大系	江幡 龜壽		
外來思想批判	深作 安文	右文館	二、三〇	倫理上より見たる我國	吉田 熊次		
續外來思想批判	〃	〃	一、二〇	社會教育勸語新行義	建部 遜吾		
歐洲思想大觀	金子 筑水	東京堂	一、三〇	成申詔書衍義	〃		
近代思想十六講	中澤 隆三	新潮社	二、八〇	國民精神作 興に關する詔書謹解	福士末之助		
改造思想十二講	宮島 隆三	〃	二、五〇	大詔謹話	後藤 静香		
思想講話	相田 隆太郎	〃	二、六〇	道德思想の發達	野上 俊夫		
東洋思想十六講	遠藤 隆吉	教文社	三、八〇	戀愛と人間愛	米田庄太郎		
論語解義	高須芳次郎	新潮社	二、五〇	戀愛の諸問題	土田 杏村		
老子解義	簡野 道明	明治書院	三、八〇	戀愛	帆足理一郎		
老子の言葉	〃	〃	四、二〇	人間苦と人生の價值	〃		
古の道 (タートル)	高田學藏譯	機部甲陽堂 プラトン社	二、〇〇	社會と人生	遠藤 隆吉		

小さい倫理學	龍夫	廣文館	一、八〇	生命の教育	三浦修吾	イデア	一、八〇
愛の科學	賀川豊彦	廣文館	三、〇〇	公民教育	木村正義	富山房	三、〇〇
苦難に對する態度	武者小路實篤	警醒社	一、八〇	社會教育の研究	乘杉嘉壽	同文館	四、〇〇
人生を斯く考へる	〃	新潮社	一、〇〇	大人教育	柳澤泰爾	大阪實文館	二、五〇
死に克つには	〃	春秋社	一、三〇	兒童の公民生活	鹿兒島登左	天地書房	二、七〇
惑溺と禁慾	寺田精一	日本精神學會	二、八〇	新公民教育の研究	〃	目黒書店	三、四〇
永久平和論	獨カント著 高橋正彦譯	國際聯盟協會	一、二〇	自然と兒童の教養	留岡幸助	警醒社	一、六〇
兒童心理學	關寬之	廣文堂	二、八〇	環境と教育	石田新太郎	北文館	二、八〇
心理學講話	松本亦太郎	改造社	四、五〇	我が子の教育	西村伊作	文化生活研究會	二、八〇
青年心理講話	野上俊夫	弘文堂	一、五〇	農村教育の研究	帝國教育會	文化書房	二、八〇
集團心理學	入谷智定	日進堂	二、七〇	公民教育講話	岡篤郎	寶文館	四、五〇
能率の研究	大原市民博物	大阪出版社	三、〇〇	丁抹の農村と其教育	水野常吉譯	民友社	二、〇〇
青年期の研究	元貞勇次郎譯	同文館	一、八〇	家庭教育	市川源三	兒童保護研究會	二、三〇
小さい倫理學	後藤引毅	廣文堂	一、八〇	母の教育學上	三宅やす子	婦女界社	一、二〇
現代の藝術	上田敏	實業の日本	二、〇〇	母のた教育學下	小原國芳	イデア	四、〇〇
藝術の本質	金子馬治	東京堂	二、八〇	日本の兒童と藝術教育	沖野岩三郎	金の星社	一、八〇

二、教育・修養

文化教育學の新研究  
現代教育哲學の根本問題

乙竹 岩藏  
長田 新

現代教育哲學の根本問題	岩藏	東京堂	二、八〇	兒童教育と兒童文藝	松村武雄	培風館	一、五〇
文化教育學の新研究	乙竹	東京堂	二、〇〇	兒童話と兒童の教育	野口雨情	イデア	一、五〇
現代教育哲學の根本問題	長田	東京堂	二、八〇	童話及兒童の研究	松村武雄	培風館	四、八〇

教育的測定學	田中寬一	松邑三松堂	五、〇〇	團體訓練	山本瀧之助	洛陽堂	一、六〇
現代小學校の建築と設備	峰 彌太郎	洪洋社	三、〇〇	現代の青年運動	海野幸徳	内外出版社	一、五〇
通町村圖書館の施設經營	成瀬 涓	靜觀堂	一、八〇	現代青年の眞生活	田子一民	帝國地方行政學會	一、六〇
増訂圖書館小論	和田萬吉外三人	西午出版社	二、〇〇	青年美談	熊田葦城	實業之日本	一、五〇
圖書の整理と利用法	鈴木 靖一	大原屋書	四、五〇	青年の青年と帝國の前途	德富蘇峰	民友社	二、三〇
地方青年團と自治	鈴木 龍次	大盛堂	〇、五〇	青年は理想す	福井武治	日比書院	二、三〇
自治的幹部の要領	廣畑 太郎	日本青年館	一、一〇	青年の理想	石井常造	大阪實文館	一、八〇
幹部の修養	山本瀧之助	〃	〇、五〇	地方青年の教養	淺山 尙	日比書院	二、五〇
青少年青年團の經營	片岡 重助	日比書院	三、八〇	婦人の力と帝國の將來	守屋 榮夫	帝國行政學會	二、五〇
青少年青年團の經營	三島章道譯	教育研究會	二、〇〇	これからの處女界の爲に	中川謙二郎	富山房	一、七〇
少年團概論	小柴 博	同文館	二、四〇	若く婦人の行くべき道	處女會 中央部	日比書院	二、六五
日本の少年團	少年團日本聯盟社	同文館	三、五〇	處女より主婦となる迄	沼田 笠峰	日本學術普及會	一、八〇
少年團指導者教範	少年團日本聯盟社	同文館	一、〇〇	社會教育の娛樂の研究	處女會 中央部	日比書院	二、三〇
少年團圖解	〃	同文館	二、五〇	獨逸國民に告ぐ	中田 俊造	大阪實文館	二、三〇
青年健兒教範	〃	同文館	二、五〇	人及び教育家としての	フイイテ	文部省	二、二〇
ガールガイド教範	〃	同文館	二、五〇	教育上と女性と母性	杉本勝次譯	岩波書店	二、四〇
少年團員備へよ常に	〃	同文館	一、五〇	女子の務	福島 正雄	同文館	二、四〇
テント生活の仕方	〃	同文館	〇、九〇	教育に安住して	下田 次郎	博文館	二、三〇
處女界の育成	〃	同文館	一、三〇	詩趣を加味して	八波 則吉	教育研究會	二、三〇
新時代の處女會 及其の施設經營	〃	同文館	三、八〇	經書物語	山林 花眠	敬文館	二、五〇
十年間實地研究したる處女會及婦人會	〃	同文館	二、四〇				二、八〇

人格と修養	井上哲次郎	内外出版協	〇、八六	二宮翁夜話	石田傳吉	大倉書院	一、六〇
人生の快樂	大内 青巒	人生創造社	〇、八六	報德記傳	坪野平太郎	實業之日本	二、〇〇
修養二十講	高島平三郎	甲陽堂	一、二〇	叱牛錄	新渡戸稻造	〃	一、五〇
一事貫行	山下信義	興文社	一、八〇	一日一言	〃	〃	一、二〇
新生の歩み	村田 太平	桃山使命社	一、五〇	世渡りの道	〃	〃	一、五〇
徹底の生活	〃	〃	一、五〇	眞と善との生活	渡邊 英一	内外教育社	二、五〇
國民小訓	德富 蘇峰	民友社	〇、八〇	攝政宮殿下の御日常を拜して	山本信次郎	警察新報社	一、〇〇
國民讀本	大隈 重信	丁未出版社	〇、八〇	日本を救ふもの	後藤 靜香	希望社	一、〇〇
修養鳩翁道話	日本修養會	博進堂	〇、八五	聖者の片影	〃	〃	一、〇〇
福翁の百話	福澤 諭吉	時事新報社	一、〇〇	使命と人生	〃	〃	一、五〇
人格の糧	深作 安文	日本青年館	二、〇〇	生活か藝術か	〃	〃	一、〇〇
精神生活	ハマー トン著	〃	一、八〇	櫻か人か	〃	〃	一、〇〇
翁問答	布施延樹譯	〃	一、三〇	歡	〃	〃	二、〇〇
人生の三方面	平山良吉譯	〃	〇、二五	妙	〃	〃	一、〇〇
如何に楽しむべきか	相馬 正治	〃	〇、三〇	白	〃	〃	一、〇〇
如何にして一身の方向を定むべきか	土谷 續譯	〃	一、七〇	權	〃	〃	二、〇〇
如何にして希望を達すべきか	大日本雄辯會	同上	一、五〇	講話	〃	〃	一、五〇
新人物立志傳	澤田 撫松	大日本雄辯會	一、八〇	早	山本瀧之助	〃	一、五〇
大正婦人立志傳	浮田 和民	實業之日本	一、七〇	活ける	運沼 門三	〃	一、五〇
勝利への道	加藤 咄堂	丙午出版社	一、五〇	獨學者の進むべき道	吉村 正	早大出版部	一、〇〇

中學講義	早稻田大學	早大出版部	二、四〇	文藝と美術	青山 爲吉	東京堂	二、五〇
女學講義	〃	〃	一、九〇	文學原論	高橋 禎二	東京堂	二、八〇
商業講義	〃	〃	一、九〇	二十四の脳髓	伊ハヒニ著	〃	二、八〇
大甲種農業講座	東京農業大學	東農大出版	〃	概觀日本文學史潮	三浦 逸雄譯	〃	二、八〇
中學講義錄	大日本國民中學會	同上	〃	文學の白光	鈴木 敏也	中文館	二、五〇
政治經濟講義	早稻田大學	早大出版部	二、六〇	文學の絶對境	松浦 一	大日本圖書會社	二、五〇
法律講義	〃	〃	二、六〇	苦悶の象徴	〃	〃	三、八〇
文學講義	〃	〃	二、六〇	十字街頭を往く	〃	〃	一、八〇
象牙の塔を出でて	〃	〃	二、六〇	田園文學	厨川 白村	改造社	二、五〇
近代文學十講	厨川 白村	大日本圖書	一、二〇	現代田園文學新選	渡邊得司郎	福永書店	二、八〇
文學概論	横山 有策	新詩壇社	一、九〇	近代日本文藝讀本	古屋 利之	博文館	二、〇〇
明治文學十二講	宮島新三郎	〃	〃	春を待ちつゝ	芥川龍之介編	大同館	二、〇〇
大正文學十四講	〃	〃	〃	新	島崎 藤村	興文社	一、五〇
近代劇十二講	楠山 正雄	新潮社	三、五〇	破	〃	アルス	一、三〇
小説研究十六講	木村 毅	〃	二、五〇	我輩は猫である	夏目 漱石	研究社	一、〇〇
近代文學十二講	高須芳次郎	〃	二、五〇	坊ちやん	〃	大倉書店	二、二〇
現代文學十二講	〃	〃	二、五〇	虞美人草	〃	春陽堂	〇、五〇
國文學史概論	坂倉 篤太郎	文獻書院	二、二〇	刷縮明	〃	新潮社	〇、五〇
近代文學の教養	黒澤 隆信	忠誠堂	一、五〇	暗	〃	岩波書店	二、三〇



夜來の花	忠直卿行狀記	恩擁の彼方へ	俊歸	父歸	新珠	時の氏	貞操	啓吉物	我鬼語	沙羅の花	ある女(前)	全(後)	三部	惜みなく愛は奪ふ	出家とその弟子	俊はぬ人	歌はぬ人	布施太子の入山	處女の死	父の心配
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	有島武郎	全	全	全	倉田百三	全	全	全	全	全
新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社
一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一、三〇〇	四、八〇〇	一、三〇〇	一、四〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	一、二〇〇	二、八〇〇	一、三〇〇	一、七〇〇	一、五〇〇	一、三〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
標立つ道	宜言	カインの末裔	死逆者	反逆者	小さなものへ	迷い路	生れ出づる悩み	玄朴と長英	平將門	叛逆時代の將門	征服被征服	運命の秋	山寒し	砂に措く	人間苦	大地の涯	善心の悪心	多情の死	韓信の死	竹澤先生といふ人
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎
新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二、〇〇〇	〇、八〇〇	〇、八〇〇	〇、八〇〇	〇、八〇〇	〇、七五〇	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

文は人なり	復活の人	義侠の人	小説全力の人	春浪快著集	浪六傑作集	碧瑠璃園傑作叢書	荆棘の路	士の藝術を語る	麻布の雑記	甲鳥園隨筆	思ひ出す人々	富みづのたはこと	寄生の木	思出の記	自然と人生	洗心廣録	名和長年	行和長年	
高正	高正	高正	高正	高正	高正	高正	高正	高正	高正	高正	高正	高正	高正	高正	高正	高正	高正	高正	高正
博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇
傀儡師	黄雀	愛する人々へ	孤獨の魂	愛の夢	七つの夢	七つの夢	七つの夢	七つの夢	七つの夢	七つの夢	七つの夢	七つの夢	七つの夢	七つの夢	七つの夢	七つの夢	七つの夢	七つの夢	七つの夢
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎	有島武郎
新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社	新潮社
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇





# 町村図書館の振興を望む

堀内 図書館長

## 一生勉強の必要

○人間は一生勉強せねばならぬ。農業をするにも、商業をするにも又は家庭の仕事をするにしても、その仕事に對して他の人々が研究した書物を見て、學理と實際とを研究せねばならぬ、其他いろいろの常識を得るとか、精神修養をするとか、高尚な趣味娛樂を得るにしても、とにかく人間は自分を立派にしやうとすれば一生勉強を続けねばならぬのである。

## 学校は少年と青年だけの教育場

○だから各町村にはその町村の人々が全部勉強する所がなければならぬと思ふ。現在はどの町村へ行つても学校だけはある様になつた。そして子供や青年は一人も残らず学校へ行つて勉強できる様になつたことは誠に有難いことである。所が町村の学校は先づ小学校の子供を教へるだけである、それに今は附け加へて補習学校も出来て、青年男女も可なり勉強が好都合になつて来た。

## 成人教育の必要

○然し一般の青年やその他の所謂大人とか婦人とかいふ人は補習学校へ行つて勉強することも出来ない。近頃文部省などではこの成人教育といふことをやかましく言つて、大人も何とかして教育しなければならぬ、少年や青年も勉強するのだから、そんなものを仕込んで行き、そんな者の手本とならねばならぬ大人をも教育せねばならぬと言はれて来たが、さてそんな人をどうして教育するかといふいふ事になると、先づ今日のやうに夜分に來てでもお話をするとか、一寸長い講習會の様なものを開くとかしか方法がないのである。

## 一般人の教育場としての図書館

○そこで、これではいけない。どうしても一つ何か勉強する所があつて、その町村の人は誰でも、又何時でも行きたい時に行つて一人で勉強出来る所がなければならぬといふことになつて来た、そうすれば忙しい時に行かなくとも、雨が降つて暇な時とか、又は夜分遊んでゐる時にも行つて勉強出来る。その場所が即ち町村の図書館である。

## 学校と図書館が教育機關の基礎

○米國あたりでは、國の教育その町村の教育は、学校と図書館との二つが基礎となつてゐるのである。日本でも、國民一般が隨時に勉強できる様にするには、どうしても学校と、図書館との二つがなければならぬと思ふのです。

## 図書館はどこか便利な所へ

○その町村の図書館は都合よつて学校の一部分(一教室にあつてもよい)か、又はその村の中央の會所のやうな所にあつてもよく、又別に建物があつてもよいがそれは都合にしてよいが、とにかくその町村の人がいつも行つて書物を見るのに都合のよい所であればよいのである。

## 図書館の先生

○それから、その図書館には、唯書物があるばかりではなく、そこには図書館の先生がゐて、いろいろよい書物を選択したり、それを整理したり、それを貸してやつたり、又、そこへ勉強しに来る人にいろいろ相談相手になつて教へてやつたりせねばならぬ。それでそんな人を別に一人とか二人とかでやつてもらはねばならぬ、そんな人が別になければ、学校の先生とか誰かそいふ教育に關係のある方に兼任してもらふのがよいと思ふ。

## 図書館での勉強

○かうしてその町村に図書館が出来ると、子供は学校で勉強し、学校へ行けない青年や大人はその図書館へ勉強しに行けるので、自分にその心さへあれば暇々にいくらでも勉強出来るのである。今は中等学校も少なくて、入るのに中々困難であり、入つてもたくさんお金がいるが、中等学校へやつてやれない子供は、この図書館で講義録や書物をたくさん買つてもらつて、夜分や暇の時に行つて、この図書館の先生について勉強することが出来るのである。

## 図書館の利用は少年も青年も成人も

○学校へ図書館をこしらへてもらふことになれば、その図書館の書物は一部分は小学校の子供も讀めるし、一部分は補習学校の生徒も讀めるし、又子供のことづけで貸出しをして、うちで讀める様にしてもらつたり、各家庭へ順番に廻してもらふことにすれば、その町村のものはそこへ行つたり、又居ながらにして書物を讀めるので、大へん都合がよいと思ふ。そして子供の時から書物を讀むよい習慣が出来て、教育上大へんよいと思ふ。そうして、子供も青年も大人も各自でつとめて勉強せねばならぬと思ふ。

## 学校図書館とその經費問題

○学校で図書館を作つてもらへば、都合のよいことは、学校の先生にお世話を願へるといふこと、学校の子供が貸出しなどの世話をしてくれることである。然し今日の学校の經費は中々書物をたくさん買ふといふことが出来ないものである。よくその町村役場の方が理解して下さつて、図書館をこしらへて書物を買ふことは、何より必要だといふことがわかつて下されば、きつと來年の豫算にでも圖書代を見積つて下さるだらうと思ふが、一方町村の方々もこの事をよく理解されて、この書物によつて、自分達の子供も、自分達も立派になれるのだといふことがおわかりになれば、進んで図書館を作るとか、もう既に有る所は、それを充實して立派にする爲にそのお金の出し方について考へてもらひたいと思ふ。さうなれば、学校でも進んで世話を下さるし、そんな相談でもあれば今日來會の方から先んじて應じてもらひたい。

## 教育の中心としては学校と図書館

○各町村には政治の中心としての役場があり、産業の中心として、農會とか産業組合が出来、敬神尊祖の中心として神社があり、宗教の中心としてお寺がある様に、教育の中心としては立派な学校と、立派な図書館が出来るとなりたいと思ふ。



俳句集 大空	尾崎 好哉	春秋社	一	一、六〇〇	虐げられし人々	米川 正夫	新潮社	一	二、〇〇〇
太平記 附竹我物語	(國文叢書、四)	博文館	二	六、四〇〇	カラマゾフの兄弟	全	新潮社	三	五、四〇〇
保元物語 平家物語	(全 五)	全	一	三、二〇〇	罪と罰	全	新潮社	二	三、六〇〇
源平盛衰記	(全 七、八)	全	二	六、四〇〇	即興詩人	中村白葉譯	新潮社	二	三、六〇〇
竹取物語 其他	(全 六)	全	一	三、四〇〇	ドン、キホーテ	セルモンテス	新潮社	四	二、二〇〇
徒然草 詳解	内海 弘藏	明治書院	一	二、二〇〇	農	全	春秋社	一	二、二〇〇
枕草子 選釋	佐々 政一	博文館	一	一、八〇〇	夜と霧	加藤朝鳥譯	春秋社	一	一、四〇〇
新譯源氏物語	與謝野晶子	大鏡閣	二	八、五〇〇	夜と霧	堀口 大祐譯	新潮社	一	一、四〇〇
新しき村の本	新しき村	出版部	八	各〇、二〇〇	曲エフラム、シンカン	全	新潮社	一	一、四〇〇
代表的名作選集	楠山正雄譯	新潮社	三	各〇、五〇〇	狼	全	新潮社	一	〇、六〇〇
新進作家叢書	全	全	三	各〇、五〇〇	人生にひしがれて	全	新潮社	一	〇、六〇〇
近代戯曲選集	全	全	三	七、五〇〇	聖ジヨウ	全	新潮社	一	一、八〇〇
シング戯曲全集	松村みれ子譯	全	一	二、〇〇〇	虫の生	全	新潮社	一	二、二〇〇
グレゴリー夫人戯曲集	近藤 孝太郎譯	全	一	二、〇〇〇	隣人の生	全	新潮社	一	二、二〇〇
ダンテ神曲物語	中山 昌樹	全	一	一、五〇〇	親和録	全	新潮社	一	一、五〇〇
フアウスト	森林太郎譯	新潮社	一	一、五〇〇	親和録	全	新潮社	一	一、五〇〇
レ、ミゼラブル	ユイゴ	新潮社	一	一、五〇〇	死の勝	全	新潮社	一	一、五〇〇
アンナ、カレニナ	豊島與志雄譯	新潮社	一	一、五〇〇	椿の勝	全	新潮社	一	一、五〇〇
戦争と平和	中村 白	新潮社	一	一、五〇〇	わが友の	全	新潮社	一	一、五〇〇
トルストイ民話集	米川 正夫	新潮社	一	一、五〇〇	狭がき	全	新潮社	一	一、五〇〇
トルストイ戯曲全集	米川 正夫	新潮社	一	一、五〇〇		全	新潮社	一	一、五〇〇

月下の一群	堀口 大學	第一書房	一	四、八〇〇	雀の卵	北原 白秋	紅玉堂	一	〇、八五〇
上田敏詩集	上田 敏	全	一	三、八〇〇	新釋和歌叢書	半田 良平	全	〇、八五〇	
日本歌謡史	高野 辰之	春秋社	一	八、五〇〇	一、大隈言道歌集	橋田 東聲	全	〇、八五〇	
明治大正詩選	詩話會	新潮社	一	二、八〇〇	二、正岡子規歌集	尾山篤二郎	全	〇、八五〇	
ホイットマン詩集	白鳥 省吾	全	一	一、〇〇〇	三、源實朝歌集	全	〇、八五〇		
ゲエテ詩集	生田 春月	全	一	一、〇〇〇	アルス名歌選	尾山篤二郎	全	〇、八五〇	
エルレーヌ詩集	川路 柳虹	全	一	一、〇〇〇	最新一萬歌集	窪田 空穂	全	〇、九〇〇	
明治天皇御集譯解	佐佐木信綱	大阪朝日	一	二、五〇〇	竹里 歌話	正岡 子規	全	〇、九〇〇	
昭憲皇太后御集譯解	全	全	一	二、八〇〇	南京 新唱	會津 八一	全	二、五〇〇	
萬葉集の選擇	全	明治書院	一	二、二〇〇	大和路巡禮の歌	竹尾 ちよ	全	一、三〇〇	
萬葉集の批評鑑賞	全	岩波書店	一	二、二〇〇	新俳句評釋	萩原井泉水	小西書店	一	〇、八〇〇
訂萬葉集新講	島木 赤彦	岩波書店	一	六、五〇〇	俳句の新味ひ方	全	全	一	〇、八〇〇
啄木歌集	次田 潤	東雲堂	一	〇、八〇〇	流轉しつゝ	全	全	一	〇、八〇〇
和歌講話	石川 啄木	東雲堂	一	〇、八〇〇	大地に歎く	全	全	一	〇、八〇〇
歌に付ての考察	若山 牧水	辻田書店	一	〇、八〇〇	淋しきまゝに	全	全	一	〇、八〇〇
大虚集	花田比露思	紅玉堂	一	二、五〇〇	芭蕉と一茶	全	全	一	〇、八〇〇
柿陰集	島木 赤彦	岩波書店	一	二、五〇〇	俳句古人を説く	全	全	一	〇、八〇〇
歌道小見集	全	全	一	二、〇〇〇	俳句はいかに作りいかに味ふか	全	全	一	〇、八〇〇
短歌私抄	齋藤 茂吉	春陽堂	一	一、五〇〇	大正一萬句	全	全	一	〇、八〇〇
土の歌	中村 孝助	春陽堂	一	一、五〇〇	大正新一萬句	全	全	一	〇、八〇〇
空に咲く花	後藤 史郎	紅玉堂	一	一、五〇〇	俳句の作り方	沼波 瓊音	新潮社	一	〇、七〇〇

赤黒	人形の弟子	悪魔の目ざめ	春の目ざめ	奴隸の目ざめ	愛の家	三の家	エミ子	青い公子	雄辯の新研究	お方の新研究	話方の新研究	演説雄辯を練れ	俗雄辯	小さい國語學	中漢文の法	漢文解釋法	日本外史	ローマ字獨けいこ	記憶の英語獨習自在
スタンダール	佐々木幸丸	市川又三郎	野上豊一郎	永代美知代	伊三浦修吾	フアラハ	柳田平林共著	水野葉舟	加藤正雄	下位春吉	森本厚吉	竹内厚吉	久留島武彦	安藤正次	大島庄之助	塚本哲三	田中館愛橘	水谷次郎	
新潮社	全	全	岩波書店	誠文堂	全	隆文館	春秋社	誠文堂	新潮社	同文館	廣文堂	昇龍堂	廣文堂	廣文堂	研究社	有朋堂	全	廣文堂	
二、五〇	〇、九〇	〇、九〇	一、六〇	三、〇〇	三、〇〇	二、五〇	五、〇〇	二、八〇	〇、九〇	一、八〇	一、二〇	一、〇〇	一、八〇	一、八〇	一、七〇	一、五〇	〇、三〇	一、五〇	
誰にも模範英語獨習	小田伴次郎	文盛堂	エスベラント講義録	教育協會	新極東社	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	
四、歴史・地理	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	ウエルス	
二、五〇	〇、九〇	〇、九〇	一、六〇	三、〇〇	三、〇〇	二、五〇	五、〇〇	二、八〇	〇、九〇	一、八〇	一、二〇	一、〇〇	一、八〇	一、八〇	一、七〇	一、五〇	〇、三〇	一、五〇	
宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	
文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	
一、〇〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	

講談日本外史	大阪文化史	日本女性史論	歴史と人物	國民西洋歴史	小さい西洋史	通俗世界大戦史	支那文化史講話	支那現代史	支那趣味の話	維新後大年表	模範最新世界年表	新編日本讀史地目	有史以前の日本	論考 古學	考 古學	古代遺物遺跡の研究	偉人の青年時代	ブルターク英雄傳	われらの攝政宮
今三餘	中川一男	三浦周行	新井白石	柴田親雄	村島靖雄	早稻田大學	高桑駒吉	松井等	後藤朝太郎	妻木忠太	三省堂	吉田東吾	鳥居龍藏	濱田耕作	高橋健自	大野雲外	澁谷春雄	大山千代雄	後藤武男
同文社	同文社	同文社	同文社	同文社	同文社	同文社	同文社	同文社	同文社	同文社	同文社	同文社	同文社	同文社	同文社	同文社	同文社	同文社	同文社
六、〇〇	四、五〇	三、〇〇	二、八〇	二、〇〇	一、八〇	三、〇〇	三、〇〇	四、五〇	二、四〇	二、三〇	四、〇〇	一、四〇	七、〇〇	三、五〇	一、〇〇	二、三〇	一、五〇	一、〇〇	二、〇〇
皇太子海外御遊日誌	趣味の偉人物語	はじめの天皇	福翁自傳	東郷元帥詳傳	西郷隆盛	西郷南洲	吉田松陰	吉田松陰	我が愛する諸葛孔明	職工から大臣へ	活歴一貫から	我が一生と事業	杉浦重剛先生	元祿快樂錄	歐米名士の印象	傑作を出した人々	近世偉人物語	ワシントン物語	豊太閣
宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房	宮内大臣官房
文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院	文敷書院
一、〇〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇

リソコーン物語	櫻井 鷗村	丁未出版社	一、七〇	推理的日本地理	山本 幸雄	中文館	一、七〇
平民原敬	井上 雅二	三松堂	二、五〇	日本の誇(奥羽)	北垣恭次郎	蘆日書店	一、二〇
愚禿親鸞	須藤 光暉	金尾文淵堂	一、五〇	日本の誇(關東)	全	全	一、二〇
法然上人	全	全	二、〇〇	日本の誇(中部)	全	全	一、二〇
空海	全	全	二、五〇	(他七冊出版豫定)	全	全	一、二〇
釋迦一代記	江部 鴨村	中央出版社	一、八〇	自學自習趣味の世界地理	角田 政雄	三友社	三、二〇
日蓮聖人正傳	本多 白生	博文館	二、二〇	中等参考趣味の世界地理	諏訪徳太郎	大修館	一、六〇
孔子	遠藤 隆吉	丙午出版社	三、〇〇	地理	金尾種次郎	金尾文淵堂	三、八〇
釋迦	木屋 徳城	國民圖書	四、五〇	近畿	杏本旅行會	日本書院	二、五〇
基	松本 雲舟	全	四、五〇	遊覽その日歸り	田山 花袋	博文館	二、五〇
明治近世偉人百話	田中 萬逸	國民書院	一、八〇	日本名勝旅行詳典	全	全	六、四〇
大正新立志傳	爲藤 五郎	大日本雄辯會	一、五〇	花袋紀行集	森田 友吉	明治圖書	一、八〇
歐米大人物立志傳	北島 利男	全	一、八〇	近畿の山河	近畿登山協會	ヤナギ會	一、五〇
世界天才異聞集	淺原 鏡村	實業之日本	一、九〇	登山	田中 薫	目黒書店	二、三〇
山縣元帥	杉山其日庵	博文館	三、五〇	信仰異國行脚	日下部 四郎太	改造社	三、〇〇
觀樹將軍回顧錄	政教社編	政教社	五、〇〇	行脚	全	全	二、八〇
耶蘇	廣瀬哲士譯	東京堂	二、八〇	二人行脚	若山 牧水	全	三、五〇
使徒	全	全	二、八〇	みなかみ紀行	小笠原白也	全	一、三〇
トレストエフスキイ	昇龍 夢野	全	三、〇〇	いそかぬ旅	井上 震舟	大京屋	二、五〇
日本傳説研究	藤澤 衛彦	大鏡閣	五、〇〇	鐵道旅行案内	橋 瑞迢	博文館	一、三〇
大日本帝國地理精義	小林房太郎	南光社	一六、五〇	中亞探検	全	全	一、三〇

鮮滿支那	雲煙過眼日	森本 角藏	目黒書店	二、五〇	普通選舉の精神	上杉 慎吉	敬文館	一、三〇
薄氷を踏みて	沖野岩三郎	大阪屋	大阪屋	二、五〇	普選のわかれ	赤松 邦太	大朝朝日新聞	一、〇〇
西洋又南洋	井上 雅二	古今書院	古今書院	三、二〇	陪審法の知識	田川大吉郎	日本評論社	一、〇〇
日本人の南米事業	山崎 直方	日本評論社	日本評論社	一、八〇	所得税法の知識	推名 隆	大日本法令	三、〇〇
新發展地	中平 亮	大阪屋	大阪屋	二、八〇	租税の知識	藤澤 弘	日本租税學會	二、五〇
歐、亞、弗の旅	田山 花袋	帝國地方行政學會	帝國地方行政學會	二、八〇	市町村制要論	星野 武雄	大朝堂書店	三、八〇
明け行く朝鮮	松村 松盛	九段書房	九段書房	二、五〇	清水日本六法全書	清水 書店	清水書店	四、五〇
大日本精密全圖	木崎 龍尾	下村書房	下村書房	一、八〇	帝國憲法大意	清水 澄	全	一、八〇
米國見物	菅原 守一	博文館	博文館	二、五〇	地方自治の精神	守屋 榮夫	帝國地方行政學會	二、五〇
改史蹟めぐり	大類 伸	博文館	博文館	一、六〇	公民我々が村	森川恒太郎	自治協會出版部	二、〇〇
歴史家の旅から	坂口 昂	内外出版社	内外出版社	二、八〇	婦人の法律	片山 哲	新生社	三、五〇
世界一人旅	吉田 惟孝	厚生閣	厚生閣	二、三〇	必ず心得おくれべき	商店界編輯部	商店界	二、五〇
世界の南米	野口 良治	全	全	二、三〇	商人諸君の法律	米田 英夫	早大出版部	一、八〇
大寶庫	徳富猪一郎	全	全	七、〇〇	特許のかざ	高島 宗三	早大出版部	三、五〇
煙霞勝遊記	松川 二郎	民友社	民友社	一、八〇	國際聯盟概論	澤田 謙	巖松堂	二、五〇
科学より趣味の旅行	内田 寛一	有精堂書店	有精堂書店	〇、五五	國體新論	黒板 勝美	博文館	二、五〇
大正十四年版	右文館	右文館	右文館	〇、五五	大日本帝國々々論	豆理章三郎	中文館	二、五〇
法制講話	森 莊三郎	改造社	改造社	二、五〇	日本膨張論	後藤 新平	文化生活研究社	二、八〇
五、法制・經濟・社會	改造社	改造社	改造社	二、五〇	現代政治講話	吉野 作造	内外書房	二、八〇
太平洋問題觀瀾	全	全	全	二、五〇	猶大人の世界征略運動	酒井 勝軍	内外書房	二、八〇

法憲夜話	穂積 陳重	有斐社	一、八〇	外國爲替の見方	山崎 靖純	日本評論社	一、五〇
嘘の効用	末弘 巖太郎	改造社	二、六〇	物價の見方	下田 將美	全	一、五〇
日本論	室伏 高信	批評社	一、〇〇	相場取引の見方	三浦 弘一	全	一、五〇
比例代表の話	江木 翼	報知新聞社	一、〇〇	保険の見方	長水 義正	全	一、五〇
國防と海軍の知識	佐藤保太郎	明治圖書	二、九〇	植民及移民の見方	松岡 正男	全	一、五〇
壯丁のたぐひ	田中 義一	川流堂	〇、二〇	労働問題の見方	下田 將美	全	一、五〇
壯丁のたぐひ	海軍省	全	〇、二五	小さい経済學	志方 克巳	全	一、五〇
青年教練教授要綱	織田書店編	同上	一、二〇	通俗經濟十二講	堀川 善哉	新潮社	一、八〇
財政經濟講話	添田 壽一	日本書院	二、〇〇	實一家經濟法	添田 壽一	大學館	一、六〇
經濟・讀本	太田 正孝	日本評論社	一、〇〇	日本經濟史	竹越與三郎	岩波書店	二、三〇
も一つの銃	全	全	一、〇〇	植民夜話	東郷 實	岩波書店	二、三〇
新聞記事を經濟の話	永田與三郎	東洋圖書	二、二〇	社會學讀本	永井 亨	日本評論社	一、〇〇
説明したる經濟の話	東京朝日新聞	日本評論社	一、五〇	社會學原論	川邊喜三郎	早大出版部	三、〇〇
通俗財話	全	全	一、八〇	社會學十二講	杉山 榮	新潮社	二、五〇
國際財話	全	全	一、〇〇	日本社會史	本庄榮治郎	改造社	二、五〇
國民豫算論	太田 正孝	全	一、〇〇	社會思想史研究	河合榮治郎	岩波書店	二、五〇
豫算の見方	森田 久	全	一、五〇	國史上の社會問題	三浦 因行	新潮社	二、〇〇
通俗財話大系の内	全	全	一、五〇	社會問題十二講	生田 長江	新潮社	二、〇〇
税の見方(全)	全	全	一、五〇	社會問題十講	坂本 健一	武藏野書店	二、八〇
地方豫算	全	全	一、五〇	日本風俗史要	芳賀 健一	富山房	二、八〇
地方税の見方	西部喜與作	全	一、五〇	國民性十論	西村 文則	雄山閣	四、〇〇
銀行の見方	遠藤麟太郎	全	一、五〇	日本文化生活史	全	全	一、五〇
貿易の見方	新關 莊藏	全	一、五〇				

兒童文化史十二講	増田 抱村	厚生閣	三、〇〇	社會事業綱要	生江 孝之	巖松堂	三、〇〇
歐羅巴の没落	スベンア、著 村松正俊、譯	批評社	二、〇〇	生活苦と職業問題	安田 龜一	文部省	二、〇〇
滅びゆく階級	森本 厚吉	同文館	二、八〇	生活の改善	天沼 直嘉	丁未出版社	二、五〇
内理想郷物語	石田 傳吉	丙午出版社	三、五〇	貯金の世の中	會 動儉貯蓄獎勵	潮文社	一、二〇
日本家族制度史研究	砂川 寛榮	中文館	二、五〇	貯金の出来る安心生活	天笠 公平	啓文館	一、二〇
家族の研究	戸田 貞三	弘文堂	一、八〇	世界の衣食住	櫻井 鷗村	丁未出版社	二、四〇
生活の藝術家	本間 久雄	東京堂	一、八〇	婦人問題十講	本間 久雄	東京堂	二、八〇
生存と生活	森本 厚吉	全	一、八〇	婦人問題十六講	奥 うめを	新潮社	二、五〇
社會奉仕の仕方	西川光二郎	丁未出版社	二、〇〇	私達の問題	三宅 やす子	アルス	一、五〇
労働者除暇利用法	澤田 謙	巖松堂	三、五〇	未亡人の論	全	文化生活研	二、〇〇
英國に於ける労働者除暇利用法	高柳松一郎	大阪毎日新聞	〇、五〇	婚姻の基礎	宮本 英雄	改造社	一、五〇
職業の指導	文部省	寶文館	四、〇〇	遺傳と結婚	三宅 驥一	雄山閣	一、八〇
生きる悲哀	椎名 龍綱	鶴聲社	二、〇〇	異性を観る	千葉 龜雄	泰明社	二、五〇
田園情話	菅 菊太郎	山海堂	二、五〇	現代の女性觀	本間 久雄	廣文堂	二、八〇
我子の職業	小野 磐彦	清水書店	三、五〇	女性の創造	室伏 高信	批評社	一、六〇
労働運動の研究	安井 英二	同文館	三、五〇	婚姻制度講話	穂積 重遠	文化生活研	一、五〇
労働運動の機能	協調會	弘文堂	一、五〇	家庭の社會的意義	山田 わか	近代文明社	二、八〇
マルクス・エンゲルス	後藤 信隆	弘文堂	一、六〇	家庭の社會的意義	高峯 博	文教書院	一、五〇
此の後の者に	栗原 古城	玄黃社	三、八〇	家庭の社會的意義	高峯 ひろ子	全	二、三〇
住宅問題と都市計畫	關 一	弘文堂	一、八〇	家庭の社會的意義	寺一 研造	無形社	二、八〇
社會事業	田子 一民	帝國地方行	一、八〇	家庭の社會的意義	高島平三郎	甲陽堂	二、〇〇







通俗ラヂオ講座	兒童のラヂオ	無線の智識	無線電話の研究	近代藝術十六講	西洋美術の智識	近代美術の思想と作品	現代日本美術界	書科學	日本美術史	大日本美術史	南書への道程	近世名匠列傳	我が水彩	風景畫を試る人に	人物畫を試る人に	彫刻を試る人に	版畫を試る人に	陶器を試る人に	花鳥畫を描く人へ	立體派、未來派、表現派		
大阪時事新報	社及川久太郎	伊藤賢治	安藤博	一氏義良	全	田邊泰	川路柳江	石井柏亭	西村眞	相良德三	木村小舟	橋本關雪	村松梢風	石井柏亭	鍋井克之	足立源一郎	藤井浩祐	長瀬義郎	小野賢一郎	柳原紫峰	一氏義良	
同上	東洋圖書	無線實驗社	早大出版部	アルス	聚英閣	中央美術社	中央美術社	イデア書院	廣陵社	中央美術社	改造社	中央美術社	全	全	全	全	全	全	全	アルス	アルス	
一、〇〇〇	一、八〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	二、八〇〇	三、八〇〇	二、三〇〇	三、五〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇	二、二〇〇	二、三〇〇	三、五〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	三、八〇〇	
少年ニール河の草	現代日本美術界	構圖の研究	圖案構成と其應用	圖案文字大觀	圖案化、實用文字	實用家庭染色	成長に基ける子供服	子供服の縫方と着せ方	實用家庭裁縫全書	家庭裁縫圖解	洋裁裁縫圖解	子供裁縫圖解	實用新型冬の巻	實用新型夏の巻	裁縫のしかた	合理的な愛児の服装	ミシン裁縫の伴侶	和服裁縫の急所	武田裁縫書	實用武田裁縫書	フランスマ刺繡	タツチング編物
木村莊八	川路柳虹	黒田重太郎	萬富三	矢島週一	藤原太一	日本家庭染色普及會	飯島榮治	梶山彬	岩村秀太郎	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
新生堂	中央美術社	全	信託教育通信社	彰文館	大鏡閣	桐山商店	文化生活研究會	アルス	盛義堂	大阪毎日新聞社	創生社	婦人の友社	アルス	富山房	アルス	全	全	全	全	全	全	全
三、〇〇〇	二、三〇〇	三、〇〇〇	四、五〇〇	四、五〇〇	三、八〇〇	一、五〇〇	三、〇〇〇	一、二〇〇	一、八〇〇	二、七〇〇	二、〇〇〇	一、五〇〇	二、五〇〇	三、八〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇

新しい編物	編物の新しい編方	實用編物集	新しい刺繡の仕方	實用的毛糸あみ物	新しい毛糸編物	毛糸手織り仕上迄	音楽概論	日本音楽の研究	現代人の生活と音楽	西洋音楽十二講	日本音楽の聴き方	音楽鑑賞の智識	レコードの選び方と聴き方	ハーモニカ奏法	家庭に蓄音機の知識	劇の創造と鑑賞	近世日本演劇史	芝居入門	趣味の寫眞術	通俗寫眞術	
岸本朝子	小林富美子	成田みゆき	内藤高子	加藤フエーザ	全	加藤よし子	田邊尚雄	全	全	前田三男	那智俊宣	牛山充	服部龍太郎	宮田東峰	田邊尚雄	島村民藏	伊原敏郎	小山内薫	三宅克己	菊池勉	
アルス	精華堂	丸善	大阪毎日新聞社	内外出版社	全	文祥堂	京文社	全	文化生活研究會	アルス	大阪毎日新聞社	京文社	アルス	大日本雄辯會	文化生活研究會	新詩壇社	早大出版部	ブラトン社	アルス	六合館	
一、二〇〇	一、六〇〇	二、七〇〇	一、〇〇〇	〇、六五〇	〇、六五〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	一、八〇〇	二、五〇〇	一、八〇〇	三、〇〇〇	二、五〇〇	一、二〇〇	一、五〇〇	二、三〇〇	一、四〇〇	一、八〇〇	〇、六〇〇	〇、六〇〇	
フィルム寫眞術	寫眞術五十講	中級寫眞術	茶道と香道	諸流生花指南	投入花と盛花	碁獨習速成法	詰將棋新題	たまつき術	釣の呼吸	娛樂の研究	民樂百科全書	日本趣味十種	遊戯の哲學	體操の哲學	スポーツ全集	最新陸上競技法	最新陸上競技	最新運動競技規則集	女子競技	スポーツマンの精神	
高桑勝雄	全	加藤直三郎	水原翠香	琴松園文雅	松幸齋理彦	近藤正一	野澤竹朝	木見金次郎	小和田嘉一	上田尚	中田俊造	中山由五郎	芳賀矢一	米ギョウリツク	山本壽喜太郎	櫻井恒次郎	日本スポーツ協會	寺田瑛	寺田瑛	寺田瑛	矢島鐘二
アルス	全	全	博文館	全	松陽堂	大阪屋號	大阪毎日新聞社	博文館	文化生活研究會	寶文館	寶文館	太陽社	文教書院	更新出版社	南江堂	文化研究會	日本評論社	全	全	全	寶文館
二、〇〇〇	二、〇〇〇	一、四〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、一五〇	〇、九〇〇	〇、九〇〇	一、三〇〇	一、四〇〇	二、五〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、五〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	三、八〇〇	一、八〇〇	〇、七五〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、三〇〇

運動家に必要な運動衛生	岡田 道一	内外出版	一、二〇〇
ナイン陸上競技法	野口源三郎	目黒書店	四、五〇〇
硬球テニスの仕方	針重 敬喜	アルス	一、二〇〇
軟球テニスの仕方	横井 春野	同上	一、五〇〇
テニス規則解説	全	白揚社	一、八〇〇
日本登山案内	全	全	二、八〇〇
少年運動競技の仕方	全	全	二、〇〇〇
最新スキー術	寺田 千瑛	報知新聞	一、五〇〇
登山の話	中田 剛	文化生活	三、八〇〇
水泳競技	田村 剛	研究会	三、八〇〇
相撲	杉本 傳	創文社	二、八〇〇
水泳	種渡 焦次郎	目黒書店	二、八〇〇
登山	佐藤 三郎	全	一、八〇〇
ジャム	田中 薫	全	二、三〇〇
ランニング	佐々木 等	全	一、〇〇〇
キヤムピン	増田 健三	全	一、八〇〇
野球場	橋戸 信	全	三、〇〇〇
剣道	金子 近次	聚英閣	六、〇〇〇

八、産業・商業

農村研究講話	小野 武夫	改造社	一、五〇〇
農政四十三講	河田 嗣郎	全	二、五〇〇
農村制度の改造	横井 時敬	有斐閣	二、五〇〇
日本農業改造論	原 澄次	明文堂	二、〇〇〇
農業経営講話	有之 英夫	大阪毎日新	二、〇〇〇
農村改造十二講	石田 傳吉	日本評論社	二、〇〇〇
最近の小作問題	中澤辨次郎	巖松堂	一、五〇〇
農村法律問題	末弘嚴太郎	改造社	一、五〇〇
農村の電化	關口 定伸	日本青年館	一、六〇〇
北歐でんまーく物語	矢野 一郎	全	一、二〇〇
農村問題	山崎 延吉	全	〇、二〇〇
農民の困アンマルク	小出 満二	全	〇、二〇〇
産業組合講話	平林 廣人	文化書房	一、七〇〇
倉庫法釋義	佐藤 寛次	成美堂	三、八〇〇
農村振興と産業組合	齋藤 助亮	清水書店	三、〇〇〇
金が見たる丁抹の農村	石田 傳吉	榮文館	一、九〇〇
西瓜の栽培と其販賣法	山田 勝伴	有精堂	二、二〇〇
角田 榮一	明 文 堂	明文堂	一、八〇〇

食用作物各論	吉川 祐輝	成美堂	四、三〇〇
作物改良講義	竹崎 嘉徳	養賢堂	二、六〇〇
蔬菜栽培講義	富樫 常治	全	四、八〇〇
果樹栽培講義	全	全	四、八〇〇
温室園藝智識	石井 勇藏	新光社	四、八〇〇
畜産の歴史	安成 二郎	アルス	二、五〇〇
畜産學講義	大川 石松	殖産協會	二、五〇〇
蠶の生理講話	田中 義麿	明文堂	一、五〇〇
養鶏十二ヶ月	全	全	四、〇〇〇
實驗養鶏法	松澤 淳水	有隣堂	〇、八〇〇
小鳥の飼ひ方	横山 春平	博文館	一、八〇〇
飼鳥の智識	東 文 堂	東文堂	〇、九〇〇
養蜂大鑑	駒井 春吉	明文堂	五、〇〇〇
小鳥の飼ひ方	野々垣 淳一	東文堂	二、五〇〇
花の作り方	三井 高彦	大阪毎日新	二、〇〇〇
家庭新しい草花の作り方	大森清次郎	二松堂	二、〇〇〇
園藝	千葉高等園藝	アルス	三、三〇〇
家庭園藝と庭園設計	堀切 参郎	裳華房	一、二〇〇
菜・果樹	鈴木 清	文化生活研	五、八〇〇
家庭園藝と庭園設計	上原 静子	養賢堂	二、二〇〇
宅地利用法	市川實太郎	成美堂	三、八〇〇
實用肥料學	佐々田源十	成美堂	二、八〇〇

米麥の害蟲と豫防除根	村田 藤七	青木嵩山堂	二、〇〇〇
林學提要	後藤 房治	成美堂	二、〇〇〇
農産製造學講義	中尾 節藏	殖産協會	一、五〇〇
文化基礎 化學工業講話	西川 裕	大同館	二、八〇〇
最近の化學工業界	松平 道夫	太陽堂	三、五〇〇
工業常識	中村庫之助	丸 善	五、〇〇〇
實業讀本	武藤 山治	日本評論社	一、〇〇〇
商人讀本	澁澤 榮一	第一書房	二、三〇〇
商標を使ふ人の爲に	矢幅 眞直	寶文館	二、三〇〇
實地商取引と商慣習	寺崎 定造	大阪毎日新	二、五〇〇
中流商店の經營方	清水 正己	誠文堂	二、五〇〇
廣告と宣傳	中川 静	寶文館	一、八〇〇
商賣うらおもて	大坂朝日新聞	誠文堂	四、〇〇〇
商賣世界見物	清水 正巳	日本評論社	一、六〇〇
必ず心得おくべき商人	社經濟部編	誠文堂	二、〇〇〇
諸君の法律	米ワナメーカ著	同 上	二、五〇〇
實業訓と人生訓	井關 十二郎	同 上	二、〇〇〇
商店經營缺陷の見方	中村 茂男	白揚社	二、〇〇〇
商業學概論	内地 廉吉	同 文 館	三、四〇〇
能率學講話	初長倉眞民	大日本能率	二、五〇〇
能率學講話	全	大日本能率	二、五〇〇
能率讀本	全	大日本能率	二、二〇〇



278  
108

大正十五年十月十五日印刷  
大正十五年十月二十日發行

【非賣品】

編 纂  
奈 良 縣 立  
奈 良 圖 書 館

發行者 奈良縣山邊郡丹波市町 中 川 明

印刷者 奈良市般若寺町廿一番地 八 田 德 治 郎  
電話九二九番

發行所 奈良市橋本町 合資 會社 木 原 文 進 堂  
電話二四〇番

278  
108

# 文進堂の特約と出版

内外書籍……………の特約販賣  
 綠色塗板……………の特約販賣  
 古美術圖書……………の出版發兌  
 名所繪葉書……………の製造販賣

奈良市橋本町(三條通)

諸官廳各學校御用達

書籍専門店

合資  
會社

## 木原文進堂

電話 二四〇番  
 振替 大阪八〇六九番  
 東京二六二七番

終